

- 問1 5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--|
| 1. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている | 2. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している | 3. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している | 4. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している |
|--|---------------------------------------|--|--|
- 問2 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|----------|------|------|
| 1. 漢 | 2. 中国の南朝 | 3. 隋 | 4. 唐 |
|------|----------|------|------|
- 問3 5世紀頃、ヤマト政権の王が中国の南朝へ使いを送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 中国の進んだ律令制度を学び、仏教を公認することで、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため | 2. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授かり、国内の豪族に対して自らの正当性を示すため | 3. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権の承認を得て、武器や農具の原料となる鉄資源を安定的に確保するため | 4. 白村江の戦いで敗れた後、唐との国交を回復し、大陸の最新文化や技術を積極的に導入するため |
|---|--|--|--|
- 問4 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。 | 2. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。 | 3. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。 | 4. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。 |
|---|--|---|--|
- 問5 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利 | 2. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権 | 3. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可 | 4. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権 |
|------------------------------|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問6 5世紀ごろに大和政権の政治的影響力が日本各地に及んだことを示す、近畿地方を起点に全国へ普及した円形と方形を組み合わせた形状の古墳を何と呼ぶか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|-------|----------|
| 1. 方墳 | 2. 装飾古墳 | 3. 円墳 | 4. 前方後円墳 |
|-------|---------|-------|----------|
- 問7 古代日本における漢字の伝来とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。大陸から移住してきた人々の活動や、宗教的な背景を踏まえて選びなさい。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 縄文時代の交易を通じて大陸の文字が広まり、その後、仏教を理解するための補助的な記号として漢字が発明された。 | 2. 聖徳太子が大陸へ渡った際、現地で使われていた文字を日本独自の文字として持ち帰り、仏教の布教に用いた。 | 3. 平安時代の貴族が、仏教の教えを分かりやすく書き換えるために、漢字をもとにして日本で初めて文字を作成した。 | 4. 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。 |
|--|---|---|--|
- 問8 5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|------------|---------|--------|
| 1. 中大兄皇子 | 2. ワカタケル大王 | 3. 聖徳太子 | 4. 卑弥呼 |
|----------|------------|---------|--------|
- 問9 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。 | 2. 東北地方から九州地方まで、各地の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。 | 3. 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。 | 4. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。 |
|---|---|---|--------------------------------------|
- 問10 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が渡ってきた時期の文化についての説明として、渡来人が伝えた土器の特徴を表しているものはどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1. 低温で焼かれた、あつ手で褐色の縄文土器 | 2. 薄手でかたく、赤褐色をした弥生土器 | 3. 表面に縄目の文様がつけられた深鉢形の土器 | 4. 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器 |
|------------------------|----------------------|-------------------------|-----------------------|
- 問11 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。（2021年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 銅鏡 | 3. 鉄剣 | 4. 金印 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問12 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる | 2. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた | 3. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された | 4. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問13 5世紀頃、近畿地方を中心とする大和政権（ヤマト王権）の支配が各地に広がっていったことを示す資料として、大阪府にある大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築かれました。こうした時期に、地方の有力者の墓から出土したもので、大和政権の王の名称が刻まれているとされる遺物はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------|---------------------|---------------|-------------------|
| 1. 漢の皇帝から授けられたとされる金印 | 2. 近畿地方で多く見つかっている銅鐸 | 3. 装飾が施された石包丁 | 4. 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀 |
|----------------------|---------------------|---------------|-------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている	古墳時代中期にあたる5世紀には、高句麗の南下による朝鮮半島の緊張状態が倭（日本）にも波及していました。古墳に副葬された武人などの人物埴輪は、当時の武具の構造を正確に伝えており、埋葬された豪族の軍事的な権威を誇示したり、死者の霊を守ったりする目的があったと考えられています。
問2	答え 2 中国の南朝	古墳時代の5世紀、ヤマト王権（倭国）の「讃・珍・済・興・武」という5人の王（倭の五王）は、当時の中国で南側に成立していた「南朝」の諸王朝（宋など）へ使節を送りました。これは、中国の皇帝から称号を得ることで、国内での支配権を固めるとともに、朝鮮半島における政治的・軍事的な立場を他国に対して有利に進める狙いがありました。
問3	答え 3 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権の承認を得て、武器や農具の原料となる鉄資源を安定的に確保するため	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ遣使し、朝鮮半島南部での軍事的な優位性を認めさせることで、当時日本国内で産出できなかった鉄資源を安定して入手しようとしました。これにより、強力な武器や効率的な農具を生産し、半島諸国や国内の豪族に対して政治的な優位を保つ狙いがありました。
問4	答え 3 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。	4世紀から5世紀にかけて、大陸や朝鮮半島から多くの渡来人が移住し、新しい技術を日本列島に伝えました。彼らは金属器の加工や織物の技術とともに、密閉された穴窯で焼成する須恵器の技術をもたらしました。この技術により、従来の土器よりも高い強度を持つ器の生産が可能となりました。他の選択肢は縄文時代、弥生時代、または飛鳥時代以降の出来事です。
問5	答え 4 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	5世紀になると、ヤマト王権の王たちは「倭の五王（讃・珍・済・興・武）」として中国の南朝に朝貢しました。彼らの主な目的は、日本国内の統一的な支配権を国際的に認めさせることでだけでなく、当時進出を図っていた朝鮮半島南部における外交・軍事的な優位性を確保し、その立場を中国皇帝に正当化してもらうことにありました。
問6	答え 4 前方後円墳	前方後円墳は、円形と方形を連結させた日本独自の形状を持つ古墳です。5世紀にはその築造が最盛期を迎え、近畿地方から離れた地域でもこの形式が採用されたことは、各地の豪族が大和政権の支配体系に組み込まれていった過程を物語っています。
問7	答え 4 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。	朝鮮半島や中国大陸から移住した渡来人によって、漢字は仏教の経典とともに日本に伝えられました。当時、文字を持たなかった日本列島の人々は、これを受け入れることで歴史の記録や公的な文書の作成、そして宗教の理解を深めることが可能になり、日本の文明化に大きな影響を与えました。
問8	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳からは、「ワカタケル大王（獲加多支鹵大王）」の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これにより、5世紀後半にはヤマト王権の支配が関東から九州におよんでいたことがわかります。
問9	答え 3 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。	近畿地方にある大仙古墳のような巨大な墳墓の築造には、極めて多くの人手と長い年月が必要でした。このような大規模な土木工事が可能であったことは、当時の大王が広い範囲にわたって人々を支配し、動員できるほど強力な権力を持っていたことを示しています。
問10	答え 4 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器	渡来人は朝鮮半島から新しい技術をもたらしました。その一つとして、窯を用いて高温で焼き上げる、かたくて灰色の須恵器をつくる技術が伝えられました。
問11	答え 3 鉄剣	稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及ぶ漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。
問12	答え 4 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である	前方後円墳は3世紀後半から造られ始め、大和政権（ヤマト王権）の拡大とともに全国へ普及しました。大阪府にある大山古墳（伝・仁徳天皇陵）のように世界最大級の規模を持つものもあり、これは当時の王の権力の強大さを物語っています。
問13	答え 4 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀	5世紀の大和政権の王（大王）は、支配下に入った地方の有力者に対して、その地位を認める証として名前を刻んだ刀剣などを与えました。埼玉県（稲荷山古墳）や熊本県（江田船山古墳）といった遠く離れた地域の有力者の墓から、同じ王の名が刻まれた遺物が見つかったことは、政権の勢力が関東から九州まで及んでいたことを裏付ける重要な証拠となっています。